



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5486 URL <http://www.hitachi-metals.co.jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 藤井 博行

問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション室長 (氏名) 西家 憲一

TEL 03-5765-4075

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	129,413	2.0	10,911	△8.7	9,988	△7.1	6,239	12.9
23年3月期第1四半期	126,868	37.2	11,956	—	10,749	—	5,527	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 4,909百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 444百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.70	—
23年3月期第1四半期	15.68	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	536,000	230,597	39.3	598.43
23年3月期	529,869	228,010	39.3	591.51

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 210,909百万円 23年3月期 208,472百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	243,000	△4.4	15,000	△31.6	13,100	△31.8	7,200	△29.8	20.43
通期	533,000	2.5	43,000	△0.3	39,200	4.3	20,900	△5.9	59.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	366,557,889 株	23年3月期	366,557,889 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	14,120,873 株	23年3月期	14,115,670 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	352,439,309 株	23年3月期1Q	352,471,033 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、全体として回復基調を続けました。中国をはじめとする新興国では、引き続き好景気を維持しており、米国や欧州でも緩やかな景気回復が続きました。一方、わが国経済は、東日本大震災により製造業を中心に生産が大きく落ち込みましたが、後半には回復の兆しが見られるようになりました。

当社グループの関連業界では、自動車は、国内では震災による部品の供給不足で、大幅に生産が減少しましたが、海外では中国や米国市場の勢いはやや減速したものの好調に推移しました。半導体は、日本を除く地域ではスマートフォンやタブレット端末などの旺盛な需要もあり増加しました。情報関連機器は、スマートフォンやタブレット端末などの新たな需要が市場を牽引し、携帯電話・パソコンの伸びは鈍化したものの増加しました。鉄鋼は、国内では震災の影響で大幅に減少しましたが、海外では拡大基調を維持しています。国内住宅着工は、震災の影響により動きが鈍く、公共投資も減少幅は減りましたが低調に推移しました。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比2.0%増の129,413百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比1,045百万円減の10,911百万円、経常利益は、前年同期比761百万円減の9,988百万円、四半期純利益は、前年同期比712百万円増の6,239百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

#### ①高級金属製品

当セグメントの売上高は、前年同期比1.8%増の56,926百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比342百万円減の6,291百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

##### <金型・工具用材料>

工具鋼は、主要な用途である自動車用金型の需要が後半に持ち直し好調でした。

##### <電子金属材料>

液晶パネル関連材料は、前年度第4四半期からの調整が続き減少しました。

半導体等パッケージ材料は、スマートフォンなどの電子機器向け部材は好調でしたが、在庫調整もあり前期並でした。

##### <産業機器・エネルギー関連材料>

自動車関連材料は、国内では震災の影響で減少しましたが海外向けは需要増となり好調でした。

エネルギー関連材料は、震災の復興需要もあり増加しました。

##### <各種ロール>

国内の市場は、需要が低迷し減少しました。一方、海外の市場は、新興国が牽引し伸長しました。

##### <射出成形機用部品>

射出成形機用部品は、スマートフォン等の情報機器関連の需要が旺盛で好調でした。

##### <切削工具>

主要ユーザーである自動車関連産業の生産の停滞により、工具需要は横ばいとなりました。

#### ②電子・情報部品

当セグメントの売上高は、前年同期比2.2%増の33,774百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比489百万円減の4,121百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

##### <マグネット>

希土類磁石は、原材料価格の高騰が続く中、震災の影響で自動車用が急減しましたが後半にやや持ち直し、家電用は外需を中心に増加、FA関連では自動車や液晶用の生産が減少しましたが、全体では好調に推移しました。

フェライト磁石は、自動車や家電用の生産がやや減りましたが、前年並みとなりました。

##### <軟質磁性材料>

アモルファス金属材料は、主要市場である中国での入札手続の遅れと、震災の影響で電力会社が設備投資を抑制したため減少しました。ソフトフェライトは、景気政策終了の反動で液晶テレビが低迷したことや自動車の生産減で減少しました。ファインメットは、産業機器の需要減と太陽光発電の主力顧客で在庫調整があり減少しました。

##### <情報通信機器用部品>

情報通信機器用部品は、スマートフォン向け新規採用品の顧客での生産開始の遅れや、携帯電話をはじめとする通信機器や設備用部品の在庫調整などで減少しました。

### ③高級機能部品

当セグメントの売上高は、前年同期比1.8%増の38,767百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比545百万円減の2,082百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

#### <高級ダクタイル鋳鉄製品>

高級ダクタイル鋳鉄製品は、国内では震災の影響で減産となりましたが、海外では中国をはじめ旺盛な需要を中心に増加し、微増となりました。

#### <耐熱鋳造部品>

耐熱鋳造部品は、欧州の自動車メーカー向け輸出を中心に排ガス規制強化や省エネ対応への需要が旺盛であったため、伸長しました。

#### <アルミホイール>

アルミホイールは、国内では震災の影響で輸出用も減産となり、海外でも日系メーカーの生産調整があり減少しました。

#### <各種管継手>

各種管継手は、住宅着工戸数は低調に推移しましたが、震災後の仮設住宅の需要が急増し増加しました。

#### <ステンレス及びプラスチック配管機器>

ステンレス及びプラスチック配管機器も、住宅着工戸数は低調に推移しましたが、震災後の仮設住宅の需要が急増し増加しました。

#### <建築部材>

建築部材は、建設・設備投資がやや持ち直したことを受け、需要が増加しました。

### ④その他

当セグメントの売上高は、前年同期比65.0%増の1,285百万円となりました。また、営業利益は、前年同期比22百万円減の203百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動の結果得られた資金が投資活動及び財務活動で使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ513百万円増加し、34,507百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5,421百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が9,985百万円となったものの、法人税等の支払額4,011百万円があったこと等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、4,411百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が4,903百万円あったこと等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、59百万円となりました。これは主に有利子負債の増加2,691百万円があったことのほか、配当金の支払額2,261百万円、利息の支払額484百万円があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

需要は順調に回復しており、第2四半期も自動車・IT・家電関連分野とも堅調に推移する見込です。一方で、原材料の急激な価格高騰が続いており、現段階でこれによる業績への影響を見極めることが困難なことから、平成24年3月期第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）業績予想および平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）業績予想につきましては、平成23年5月30日公表の予想数値を据え置いております。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,712	28,994
受取手形及び売掛金	95,728	94,029
商品及び製品	39,677	43,089
仕掛品	28,979	32,003
原材料及び貯蔵品	39,950	45,741
関係会社預け金	5,265	5,316
その他	21,840	21,341
貸倒引当金	△525	△465
流動資産合計	259,626	270,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,157	52,521
機械装置及び運搬具（純額）	72,854	70,013
土地	50,521	50,529
その他（純額）	9,500	9,811
有形固定資産合計	186,032	182,874
無形固定資産		
のれん	41,549	40,829
その他	8,003	7,699
無形固定資産合計	49,552	48,528
投資その他の資産		
投資有価証券	15,043	14,780
その他	21,654	21,798
貸倒引当金	△2,038	△2,028
投資その他の資産合計	34,659	34,550
固定資産合計	270,243	265,952
資産合計	529,869	536,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,145	83,943
短期借入金	48,422	50,860
1年内返済予定の長期借入金	8,002	7,968
未払法人税等	4,631	3,707
引当金	294	95
その他	36,259	33,797
流動負債合計	175,753	180,370
固定負債		
社債	24,000	24,000
転換社債型新株予約権付社債	20,105	20,105
長期借入金	49,293	49,033
退職給付引当金	22,072	22,024
その他の引当金	3,209	3,183
資産除去債務	377	374
その他	7,050	6,314
固定負債合計	126,106	125,033
負債合計	301,859	305,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	41,244	41,244
利益剰余金	170,471	174,595
自己株式	△10,694	△10,699
株主資本合計	227,305	231,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,812	3,712
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	△20,687	△22,270
在外子会社年金債務調整額	△1,959	△1,959
その他の包括利益累計額合計	△18,833	△20,515
少数株主持分	19,538	19,688
純資産合計	228,010	230,597
負債純資産合計	529,869	536,000



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	126,868	129,413
売上原価	97,173	100,546
売上総利益	29,695	28,867
販売費及び一般管理費	17,739	17,956
営業利益	11,956	10,911
営業外収益		
受取利息	79	99
受取配当金	64	74
その他	769	538
営業外収益合計	912	711
営業外費用		
支払利息	571	462
為替差損	729	336
その他	819	836
営業外費用合計	2,119	1,634
経常利益	10,749	9,988
特別利益		
確定拠出年金制度移行差益	—	224
特別利益合計	—	224
特別損失		
関係会社整理損	—	227
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
特別損失合計	28	227
税金等調整前四半期純利益	10,721	9,985
法人税等	4,896	3,353
少数株主損益調整前四半期純利益	5,825	6,632
少数株主利益	298	393
四半期純利益	5,527	6,239

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,825	6,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△614	△103
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	△4,759	△1,627
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	5
その他の包括利益合計	△5,381	△1,723
四半期包括利益	444	4,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	662	4,557
少数株主に係る四半期包括利益	△218	352

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,721	9,985
減価償却費	6,678	6,598
のれん及び負ののれん償却額	642	656
受取利息及び受取配当金	△143	△173
支払利息	571	462
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,603	837
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,901	△12,834
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,274	6,438
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,831	△3,745
その他	1,551	1,208
小計	15,959	9,432
法人税等の支払額	△1,315	△4,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,644	5,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	4	—
関係会社株式の売却による収入	11	—
有形固定資産の取得による支出	△4,577	△4,903
有形固定資産の売却による収入	186	96
無形固定資産の取得による支出	△482	△133
利息及び配当金の受取額	135	172
その他	16	357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,707	△4,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△577	2,758
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△117	△67
社債の償還による支出	△5,000	—
利息の支払額	△683	△484
自己株式の取得による支出	△3	△5
配当金の支払額	△2,115	△2,115
少数株主への配当金の支払額	△191	△146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,686	△59
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,229	△438
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,022	513
現金及び現金同等物の期首残高	43,639	33,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,661	34,507

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	電子・情報 部品	高級機能 部品	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	55,560	32,960	38,067	126,587	281	126,868	—	126,868
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	357	86	6	449	498	947	△947	—
計	55,917	33,046	38,073	127,036	779	127,815	△947	126,868
セグメント利益 (営業利益)	6,633	4,610	2,627	13,870	225	14,095	△2,139	11,956

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	電子・情報 部品	高級機能 部品	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	56,291	33,689	38,683	128,663	750	129,413	—	129,413
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	635	85	84	804	535	1,339	△1,339	—
計	56,926	33,774	38,767	129,467	1,285	130,752	△1,339	129,413
セグメント利益 (営業利益)	6,291	4,121	2,082	12,494	203	12,697	△1,786	10,911

報告セグメントに属する主要な製品

報告セグメント	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼（金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料）、各種ロール（鉄鋼圧延用・非金属圧延用・非金属用）、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、切削工具
電子・情報部品	マグネット（希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石等およびその応用品）、情報通信機器用部品（積層部品、アイソレータ）、IT機器用材料・部品、軟質磁性材料（ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]およびその応用品）
高級機能部品	自動車用高級鋳物部品（高級ダクタイル鋳鉄製品、耐熱鋳造部品、アルミホイール、その他アルミニウム製品）、設備配管機器（各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器）、建築部材（内装システム、構造システム、マテハンシステム）

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。